

仙 台 稲 作 情 報 2026 (第7号)

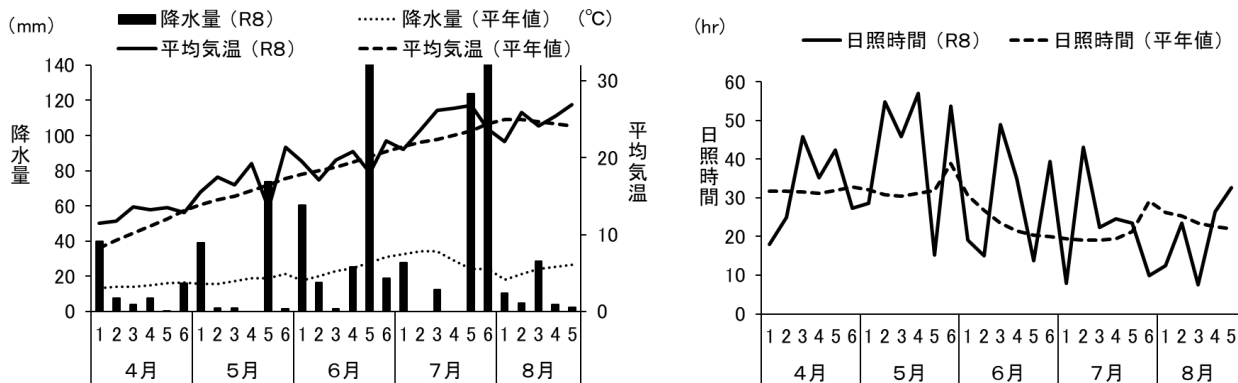
宮城県仙台農業改良普及センター TEL : 022-275-8410 FAX : 022-275-0296

http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai E-mail : sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

○栽培管理のポイント

▷収穫時期の適切な判断が必要です。
 籾の熟色をよく観察して、適期刈取りに努めましょう！

1 気象経過



- ・7月は、気温は平年より高く、降水量はかなり多くなり、日照時間は平年並で推移しました。
- ・東北南部は、平年より11日遅い8月4日ごろに梅雨明けしたとみられます。
- ・8月は、気温は平年並か高く、降水量は中旬に多くなりました。また、日照時間は少ない傾向で推移しました。

2 出穂状況

管内全体の出穂期は7月30日と、平年より1日遅く、穂揃期は8月13日と平年より9日遅くなりました。出穂期から穂揃期までの日数が14日と平年より8日長くなりました。

表1 管内の出穂状況（地帯区分別）

地 帯 区 分	出穂始期	出穂期	穂揃期
山間高冷	7/23	7/30	8/12
西部丘陵	7/23	7/30	8/11
北部平坦	7/23	7/29	8/12
南部平坦	7/29	8/1	8/12
仙台湾沿岸	7/30	8/3	8/14
仙台普及センター管内平均 (平年差)	7/23 (1日早い)	7/30 (1日遅い)	8/13 (9日遅い)
県全体 (平年差)	7/26 (2日早い)	8/1 (平年並)	8/14 (5日遅い)

※50%以上出穂したほ場を「出穂期に達した」とし、地帯区分別の出穂始期、出穂期、穂揃期は、「出穂期に達した」面積が、当該区域の水稲作付面積の5%、50%、95%以上となった日とする。

※普及センター管内全体の「平年差」は、令和3年から令和7年までの5か年平均との差。

※県全体の「平年差」は、過去10年（平成26年～令和7年）のうち、最も早い年と遅い年を除いた8か年平均との差。

3 管内の生育状況

(1) 移植栽培

各生育調査ほの出穂期は、平年より遅い傾向でした。また、穂揃期の葉色は、平年よりやや低い値でした。

表2 生育調査ほにおける出穂期及び穂揃期の葉色

品種	地帯区分	調査地点		田植日	栽植密度 (株/㎡)	出穂期	葉色 (GM値)
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市 宮城野区	本 年	5/16	13.5	8/4	32.6
			前年(比・差)	7日早い	15.8	4日遅い	+2.5
			平年(比・差)	2日早い	14.7	2日遅い	-1.2
	北部平坦	大郷町	本 年	5/24	15.3	8/12	27.9
			前年(比・差)	6日遅い	15.0	8日遅い	-4.2
			平年(比・差)	11日遅い	16.1	10日遅い	-2.6
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市 若林区	本 年	5/13	13.5	7/25	32.8
			前年(比・差)	5日早い	14.7	平年並	+0.2
			平年(比・差)	平年並み	13.8	1日早い	-1.0
にじのきらめき	北部平坦	大郷町	本 年	5/15	19.0	8/14	27.8
			前年(比・差)	7日早い	18.9	2日遅い	-

※平年差の計算は、直近5か年の平均値を使用。大郷町にじのきらめきは、昨年から調査しているため平年値なし。

※出穂日：当該ほ場の稲の出穂が50%に達した日。

(2) 乾田直播栽培

乾田直播栽培の普及展示ほの出穂日は8月2日でした。

表3 乾田直播ほ場における出穂期

品種	地帯区分	調査地点	播種日	苗立数 (株/㎡)	出穂期
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市 若林区	4/20	210	8/2

※今年度から調査しているため、平年値なし。

※出穂日：当該ほ場の稲の出穂が50%に達した日。

4 今後の管理

(1) 水管理

- ・高温時に湛水状態を続けると、夜間の水温が高くなり稲体を消耗させます。**用水量が限られる場合は、稲体の夜温を下げやすく、根の活力を維持できる「飽水管理」が有効です。**
- ・登熟良化のためには、出穂期以降30日程度飽水管理を継続しましょう。
- ・田面に亀裂が入るなど乾いた状態から急激に湛水状態にすると根を傷めるため、最初は走り水とし、その後飽水管理に移行しましょう。
- ・落水時期の適期は出穂後30日からとなりますが、ほ場条件、天候、登熟条件などを考慮して落水時期を決定しましょう。
- ・落水後も好天が続き、田面が過乾燥になるときは、走り水程度のかん水をしましょう。

(2) 刈取適期

- ・ほ場ごとに収穫期の差が大きく、収穫適期の適切な判断が必要です。
- ・刈取適期の目安は、**出穂期後の平均気温を積算した数値が概ね 1,000℃に達した頃**です。積算気温は品種で異なるため、表 4 及び表 5 を参考にして、適期の刈取りに努めましょう。
- ・一般的には、籾の 80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から 3 分の 1 程度黄変したときが成熟期です。出穂期や籾数の違いで登熟の進展に差が生じるため、ほ場ごとに籾の熟色等をよく観察しましょう。
- ・籾水分による刈取適期の判断は、25%（刈取早限）～21%（刈取晩限）が目安です。
- ・「だて正夢」は、刈取りが早過ぎた時や遅すぎた時に玄米タンパク質含有率が高くなる傾向があります。**適期が短い**ので、天気を確認しながら計画的に作業をしましょう。
- ・「金のいぶき」は、「ひとめぼれ」より成熟期が遅く。穂発芽しやすい品種です。**積算気温を目安に穂の熟色を確認して早めに刈取りましょう。**

表 4 刈取適期の目安

	品種	出穂期					
		7月25日	7月30日	8月5日	8月10日	8月15日	8月20日
仙台	ひとめぼれ	9/2～9/8	9/7～9/13	9/13～9/19	9/19～9/26	－	－
	ササニシキ	9/1～9/11	9/6～9/16	9/12～9/23	9/18～9/30	－	－
	だて正夢	9/5～9/6	9/10～9/11	9/17～9/18	9/23～9/24	－	－
	金のいぶき	9/6～9/10	9/12～9/15	9/18～9/22	9/24～9/29	－	－
	まなむすめ	9/3～9/5	9/8～9/11	9/14～9/17	9/20～9/23	－	－
	にじのきらめき	－	－	9/20～9/25	9/27～10/1	10/4～10/8	10/11～10/16
鹿島台	ひとめぼれ	9/4～9/10	9/9～9/15	9/15～9/22	9/21～9/29	－	－
	ササニシキ	9/4～9/14	9/8～9/19	9/14～9/26	9/20～10/3	－	－
	だて正夢	9/8	9/13～9/14	9/19～9/20	9/25～9/27	－	－
	まなむすめ	9/5～9/8	9/10～9/13	9/16～9/19	9/22～9/26	－	－
	萌えみのり	9/4～9/10	9/6～9/13	9/15～9/22	9/21～9/29	－	－
	にじのきらめき	－	－	9/23～9/28	9/30～10/5	10/7～10/13	10/15～10/22
大衡	ひとめぼれ	9/3～9/8	9/8～9/15	9/15～9/22	9/21～9/29	－	－
	ササニシキ	9/3～9/10	9/8～9/19	9/14～9/26	9/21～10/3	－	－
	だて正夢	9/7～9/8	9/12～9/13	9/19～9/20	9/26～9/27	－	－
	まなむすめ	9/4～9/7	9/9～9/13	9/16～9/19	9/22～9/26	－	－
	萌えみのり	9/3～9/10	9/8～9/15	9/15～9/22	9/21～9/29	－	－
	にじのきらめき	－	－	9/23～9/28	9/30～10/5	10/7～10/13	10/16～10/23

※出穂期が 7/25、7/30（管内出穂盛期）、8/5、8/10 であった場合の品種毎の刈取適期の目安。にじのきらめきについては、8/5、8/10、8/15、8/20 であった場合の刈取適期の目安。

※気象データは各地点のアメダステータを使用。

8月27日までは実測値、それ以降は平年値を使用。

※各出穂日に対する刈取適期の算出は、表 5 に基づいて計算した。

表 5 出穂後の積算気温による刈取時期の目安

品種	出穂後の積算気温
ひとめぼれ	940～1,100℃
ササニシキ	930～1,170℃
だて正夢	1,020～1,060℃
金のいぶき	1,050～1,150℃
まなむすめ	960～1,050℃
にじのきらめき	1,100～1,200℃
みやこがねもち	1,000℃前後

◎ 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測・判定

「ひとめぼれ」では、穂数および稈の長さが平均的な株（枝梗数 8 本）の中位二次枝梗籾（図 1）の籾色を観察することで、成熟段階の判定が可能であり、刈取適期を予測することができます（表 6）。

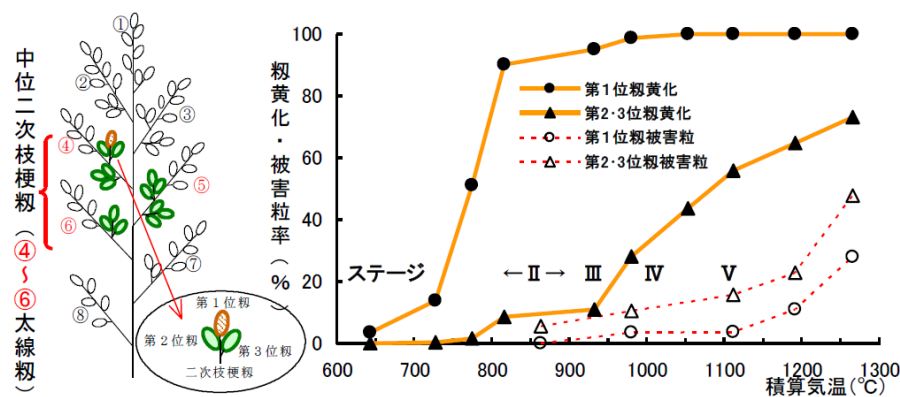


図 1 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

表 6 「ひとめぼれ」の籾色による成熟段階

成熟段階	籾熟色	備考
I	第1位籾が急速に黄化開始。	
II	第1位籾がほぼ黄化(90%)。	7日以内に刈取り早限
III	第1位籾がほとんど黄化し(95%)、第2・3位籾が黄化開始。	刈取早限(刈取適期ここから)
IV	第1位籾の黄化100%、第2・3位籾が30%黄化。	積算気温1,000℃程度
V	第2・3位籾が50%以上黄化。	刈取晩限(刈取適期ここまで)

5 収穫作業

- ・コンバイン収穫は籾水分が高いと損傷が多くなるため、**籾水分 25%以下を目標に刈取**しましょう。
- ・今年度作付けしている品種が前年と異なるほ場では、漏生籾（こぼれ籾から発芽した稲）の発生に注意し、草姿や成熟が明らかに異なる株は可能な限り抜き取りましょう。
- ・複数品種の刈取りは、**品種が替わる際に十分な清掃**を行い、異品種の混入防止に努めましょう。
- ・倒伏している場合は**刈分けを実施**し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

6 乾燥調製

- ・収穫後の生籾を放置すると発熱で変質米となるため、**刈取り後速やかに乾燥機で送風**しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲など**高水分の籾を機械乾燥**する場合は、**二段乾燥**(籾水分が 18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定して過乾燥を防止しましょう。**仕上がり玄米水分は 14.5%～15.0%が目標**です。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

7 東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（8/27 仙台管区气象台発表）

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。
- 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。